

三重の

生きものたより

第29号



春になれば 全国各地で記録的な豪雪を観測した冬が過ぎ、水ぬるむ季節がやってきました。小川をのぞき込むと日向ぼっこをしているかのようなドジョウがいます。ドジョウは全国に分布し、唱歌や民謡にも登場するなど古くから日本人に親しまれてきました。写真にもあるように5対の口ヒゲと円筒形のヌルヌルとした褐色の体が特徴的です。

さて、このドジョウはエラだけでなく口から空気を飲み込み、腸で呼吸することができます。こうすることで酸素濃度が低下することもある水田等の泥地に適応してきたのです(ドジョウのお腹から出る気泡はその証拠です)。しかしながら、河川改修や農地改良等で生息域を奪われたり、柳川鍋にされたりと、ゆっくり春を楽しんでいる間もないのかもしれない。

さあ、野外へ生きものを探しに行きたくなる春です。ご家族や友人を誘いあって春の小川へでかけ、ドジョウたちの暮らしぶりをのぞいてみませんか？

Y.Y.

志摩半島野生動物研究会